

## 学校の環境整備

**問** 職員による環境整備班が廃止されたが、小中学校の環境整備はこれまでどおり行われているのか。また、今後の実施に対する考えについて伺いたい。

**答** 各学校の環境整備業務については、側溝清掃や除草剪定せんていなどの実施すべき箇所や予定時期などを記載した業務計画書を作成して実施している。業者委託による実施においては、学校のニーズに応じた早急な対応が可能となり、小規模修繕も計画的に発注できるよう予算を配当し対応していることから、環境整備はできていると考えている。今後、学校内で十分な協議のうえで業務計画書を作成するよう指導するとともに、学校との連携を密にしながら取り組んでいきたい。

## 子育て支援

**問** 休館中の松山児童センターの代替施設として、西洋館に子ども広場を暫定的に開設運営しているが、里・中野郷会館を活用し、子育て支援センターを整備する考えはないか伺いたい。

**答** 子ども広場の周辺地域は乳幼児の数が多く、子ども広場の利用者数も多いことから、子育て支援センターの整備は必要であると考えている。そのようなか、里・中野郷会館は、整備場所として適しているものの、耐震補強工

事などの改修が必要なことや、フロアの床面積の狭さが課題となっている。現在、地域内の他の施設への設置可能性を検討しており、その結果を踏まえ、総合的に整備方針を出していきたい。

## 平和の泉の改修

**問** 平和公園の中にある平和の泉は、建設して約50年がたつが、現状をどのように把握しているのか。また、被爆75周年までに改修できないのか。

**答** 平和の泉は、水底や外周の石張壁に部分的な剥がれが生じており、老朽化が進んでいるものと認識している。平和公園は多くの方が平和を祈念する特別な場所であることから、改修に当たっては、部分的な補修では一部にまだら模様が生じ、景観上好ましくないため、慎重な対応が必要であると考えている。

平成32年の被爆75周年という節目を目標として、それまでに改修できるように努力していきたい。



▲建設して約50年がたつ平和の泉

## 公明党

長崎みなとメディカルセンター  
市民病院の障害者への対応

**問** 透析患者を含む身体障害者手帳所持者の駐車場料金無料化の検討状況と、障害者用駐車区画を内部障害者や妊婦の方なども利用しやすくするための表示の工夫について伺いたい。

**答** 身体障害者手帳などの所持者で、市民病院を受診される方の駐車場料金については、透析のための通院患者の経済的負担や、身体障害者が公共交通機関を利用して通院する際の身体的負担を考慮し、無料とする方針である。また、8台分の障害者用駐車区画に加え、乗り降りしやすきよう同じ広さの5台分を整備し、その表示については、車椅子利用者のほか、内部障害者や歩行困難な高齢者、妊婦の方などが利用しやすいようわかりやすい表示に努めていきたい。

## 学校の跡地活用

**問** 学校の統廃合に伴う学校跡地の数と活用状況について伺いたい。また、学校跡地に特化した活用方針を定めることについての見解を伺いたい。

**答** 小中学校の適正配置を進めてきた結果、17の学校施設が廃止となった。

このうち、統合された学校の新校舎敷地や市立図書館、地区公民館への転用などで9カ所を活用している。

学校は、地域の重要な場所に立地する場合も多く、敷地面積も広いことから、跡地の活用方法についてもさまざまな可能性があり、今後のまちづくりにおいても重要な場所となることから、学校跡地に特化した活用方針ではなく、全市的な政策的観点から活用策を判断すべきと考えている。

## 被災者支援システムの活用

**問** 被災者支援に必要な情報を市役所内で二元的に管理することができ被災者支援システムについて、長崎市でも早急に導入し、活用を図るべきだと思いが、見解を伺いたい。

**答** 現在、罹災ひび証明書の発行を含む被災者支援業務については、独自に構築した防災情報システムで対応しているところである。

被災者支援システムの最大の利点は、住民基本台帳に基づく情報を活用し、罹災証明書の迅速で円滑な交付が可能となることであるが、現行のシステムで行うには改修が必要となる。

このことから、システム改修の場合と、新たにシステムを導入した場合の費用や事務の効率化などを比較検証し、被災者への支援事務が遅延しないよう関係課と協議のうえ対応したい。